

学校便り「啐啄」「そったく」～「啐」は、ひなが卵の殻を破って出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥が殻をつつき割る音です。親鳥と雛の絶妙のタイミング。同様に、先生と子ども、保護者と子ども、先生と保護者等の呼吸がぴたりと合うことを願いつつ、本年度も学校だよりのタイトルとしました。

3学期スタート

新しい年、令和3年となり、今年はより強く「よい年になりますように！」と願う正月となりました。

3学期の始業式を向かえた途端に、令和3年1月7日「県独自の緊急事態宣言」が発令されました。増えることが予想されていたとはいえ、戸惑い不安がよぎります。しかしながら、子どもたちの大切な小学校生活は刻一刻と進んでいきます。引き続き、「子どもたちの健康・安全」と「子どもたちの学びの保障」の2つを、常に意識しながら緊張感をもちながらの3学期となります。感染症対策で、数々の行事等も縮小や中止等の対応が続いています。社会全体が、活動制限下におかれて、閉塞感に包まれ、暗く気持ちも下がりがちです。学校の活動も制限される事が予想されますが、知恵を出し合い、子どもたちの成長へつながる工夫をしていきたいと考えます。厳しい状況だからこそ、子どもたちの笑顔がさらに明るく輝くように、一步一步の成長を、日々の姿を、見届けていきたいと考えます。一つ一つを丁寧に重ねながら、一日一日をつなぎながら、3月の卒業式・修了式という本年度のゴールへ歩を進めていきます。

1年間のまとめの時期であり、次学年のスタート準備の時期を、職員一同、力を合わせて、努めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

2月行事

※感染状況により、延期や中止等の場合もあります。

- 1日（月）朝の一声運動
- 2日（火）全校朝会 新入生保護者説明会
- 4日（木）クラブ（3年生クラブ見学） 集金日 ベルマークの日
- 5日（金）6年生・租税教室
- 8日（月）子どもたちへ伝えたいこと（5・6年）
- 9日（火）代表委員会
- 16日（火）全校集会
- 22日（月）委員会活動
- 25日（木）クラブ
- 26日（金）参観日
- 27日（土）ムギユ！の日



入賞おめでとう！

12月20日（日）に、第22回五色百人一首県北大会が開催されました。北浦小学校からも8人参加しました。それぞれに、普段の練習の成果を発揮してがんばりました。6年の甲斐あんじゅさんが見事優勝、4年の水木くるみさんが準優勝、6年の松原さとしさんが4位という、すばらしい活躍でした。大会独特の緊張感や相手と競い勝ち上がる難しさ、他の学校の友だちと百人一首を通して交流する楽しさ等々、いろんな体験をしたことでしょう。よくがんばりました。

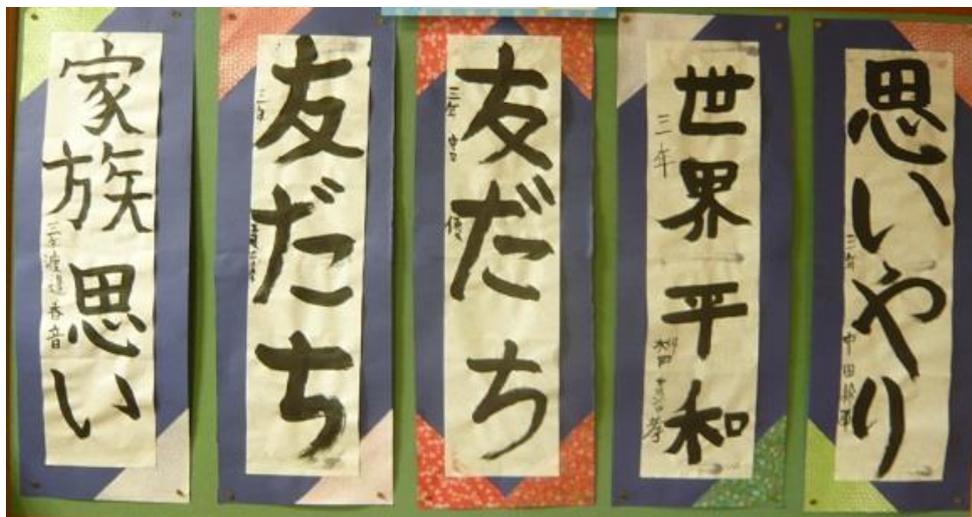
ふるさと・北浦

12月7日、5年生の教室に臨港の鍋田さんが講師として来てくださいました。ふるさと北浦町をテレビなど多くのメディアを通して発信し続けておられる思いや北浦のすばらしさ、修業時代の苦労など、多くを学ぶ機会となりました。ありがとうございました。「北浦町が大好きだから、人とつながり、もっともっと北浦を発信したい。」「自分のためなら迷う一歩も、人のためならすっと出る一歩になる。」大切な思いを、子どもたちは真剣な表情で受け取っていたようです。



たくましい、北浦っ子！

今年の冬は、特に寒い日が多いような気がしています。時に気温が0度を下回るような朝もあります。そんな朝から、運動場で元気に遊ぶ子どもたちもいます。中には、冷たい鉄棒を握りしめて逆上がりを見せてくれる子どもたちもいます。もちろん昼休みも元気いっぱいです。ドッジボールやキックベース、ケイドロ、鬼ごっこ、ブランコ、鉄棒、なわとび、竹馬、一輪車……。さらに、たくましさを感じることは、病欠が圧倒的に少ないということです。コロナ禍において、よりウィルス対策が例年より徹底されていることもあるのかもしれませんが、全校児童の「欠席0」の日が、大変多いです。心も身体も健康である日が多いということは、大変いいことです。北浦っ子は、たくましいです！



子どもたちの書き初めです。大切にしている言葉や願いを、書いたのです。令和三年が、どうぞよい年になりますように！北浦っ子、がんばれ！